

多世代が集う 憩い広場がわらばん

第 1 回

日 時：平成 26 年 11 月 17 日（月）19 時～21 時
場 所：大口町役場
出席者：18 名
テーマ：「大口北小学校跡地について話し合おう！」

みなさんこんにちは！この度、大口町では、大口北小学校跡地の公園整備を進めることになりました。そこで、地域の皆さんと一緒に計画地や周辺地域について考え、地域に親しまれる公園となることを目指し、公園づくりワークショップを開催しました！

第 1 回ワークショップでは、地域の皆さんだからこそ知っている大口北小学校跡地やその周辺の特長（魅力）や課題について、また、公園づくりの方針について話し合いました！当日の様子や主な意見を「かわらばん」としてまとめましたので、是非ご覧ください！



ワークショップ風景

町からのあいさつがありました！



進め方の説明がありました！



班に分かれて話し合いました！



A 班



B 班



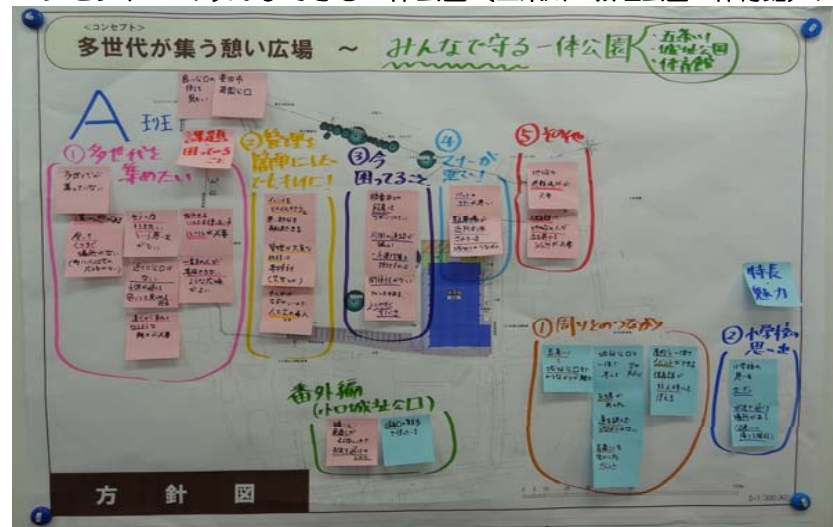
C 班

班ごとに結果を発表しました！



A 班の主な意見

コンセプト：＜みんなで守る一体公園（五条川・城址公園・体育館）＞



①周辺とのつながりが大切

- 昔は五条川に降りて遊んだ（今も川へ降りる階段がある）
- 五条川を生かしたイベント開催によりつながりを生まれ魅力的
- 城址公園と一体で考えるとより魅力的
- 体育館との一体利用により屋内外が一体となったイベントが可能
- 防災時にも体育館と一体的な利用が可能
- 地域や体育館の案内板や情報板が必要
- 周囲から入りやすくしてほしい（今はフェンスがあり開放性がない）

②広場の使い方について（多世代が集い、憩うために）

- 誰でもいつでも使える場所（今は利用できる人が限定）が必要
- 複数の利用者が同時に利用するためのルールづくりが必要
- きれいで広大な芝生広場なら利用者のマナー向上につながる
- 地域の避難場所が必要

③その他施設の使い方について

- 利用者が座ってくつろぐ場所が必要
- 親子連れで訪れる場所があると良い
- 子供が遊べる遊具、親が安心して見守れる遊具が欲しい
- もう一度行きたいと思える、思い出づくりができる広場が必要
- 遠くからでも訪れたくなる魅力のある場所が必要

④旧大口北小学校について

- 昔からあるセンダンは小学校時の思い出の木である

⑤周辺道路状況・アクセスについて

- 周辺道路幅員が狭い（交通量が少なく逆に安全なのではないか）
- 周辺道路の一方通行を検討すると良いのではないかと

⑥その他（維持管理など）

- 簡単に管理できる施設整備（天然芝ではなく人工芝の広場など）とすることが大切
- 清潔に管理できる施設（トイレなど）が必要
- たくさんのイベント開催（定期的な管理につながる）が重要

B 班の主な意見

コンセプト：＜桜いっぱい!!わんぱく広場＞



①周辺とのつながりが大切

- 五条川沿いは、桜の季節はたくさんの人が集まる
- 桜の咲く春は特別なところになるので、それを公園計画に生かす
- 五条川から公園を見たときの景観が良くない
- 五条川の散策コースと連携した園路があると良い
- 現在は分離されている城址公園との連携が大切

②広場の使い方について（多世代が集い、憩うために）

- スポーツ（多世代が参加できるグラウンドゴルフ、パークゴルフやディスクゴルフ、パターゴルフ、野球など）ができる広場が必要
- 一人でもキャッチボール等ができるスポーツウォールがあると良い
- 広場は芝生があると良い
- 団体球技の利用時には、広場スペースの占有や取り合いにならないように利用時間帯や予約の仕組みを考える必要がある

③その他施設の使い方について

- 桜の季節にバーベキューができると良い
- バーベキューは公園が荒れるので禁止すべき
- ゴーカートやおもしろ自転車乗りがあると良い

④旧大口北小学校について

- センダンは残して欲しい

⑤周辺道路状況・アクセスについて

- 公園の場所が分かりにくく、道路が狭いため車でアクセスしにくい
- 駐車場整備により無断駐車が増加すると思われる
- 公園整備で車の交通量が増えると周辺住民にとっては迷惑

⑥その他（維持管理など）

- 除草程度であればボランティアがやっているところもあるが、本格的な管理については予算の確保が必要
- 人工芝であれば管理費が安価なのではないか
- 人工芝は誰もが自由に入れる広場では管理ができない
- 公園の管理者が必要だと思う（場所取りなどの問題）

C 班の主な意見

コンセプト：＜100 年先の歴史をつくろう！＞



①周辺とのつながりが大切

- 五条川、尾北自然歩道利用者が立ち寄れるのは魅力的である
- 小口城跡と五条川との一体化（景観）は魅力がある
- 隣接する城址公園との一体的な整備が望まれるが、西側の駐車場がネックとなる

②広場の使い方について（多世代が集い、憩うために）

- 地産地消を目的とした朝市などの開催（屋外テント設置）
- スポーツ教室ができるように夜間の照明が欲しい
- 災害時には仮設住宅を建てられるスペース
- 災害時に炊き出しのできる施設

③その他施設の使い方について

- 冬でも遊べるような築山のようなものが欲しい
- 多言語表記や絵文字・点文字のサインがあるとよい

④旧大口北小学校について

- センダンや特長のある木（メタセコイアなど）は残して欲しい
- 東側に相撲の土俵、西側には体育館と校舎を結ぶ渡り廊下があった
- 体育館の東側は、学校の入口があった

⑤周辺道路状況・アクセスについて

- 計画地の場所が分かりづらい
- 周辺道路が狭い
- 緊急時の大型車両進入路がない

⑥その他（維持管理など）

- 自然にとけ込む木素材の施設がほしい
- 住宅と隣接するところに防火対策のための樹木植栽が必要
- 災害時に必要な水源（貯水池など）があるとよい
- 南東部は、地域の不燃物置場となっている

お知らせ 第 2 回ワークショップは
12 月 15 日（月）19 時～（大口町役場）
です！

＜お問い合わせ先＞ 愛知県 丹羽郡 大口町 都市整備課
（担当：岩崎、大森）



Tel 0587-95-1111 Fax 0587-95-1030

第 1 回ワークショップは、参加者の皆さんのご協力のおかげで活発な意見交換ができました！皆さん、本当にありがとうございました！！
第 2 回ワークショップでは、もう少し具体的にどのような使い方ができるか、どのような空間がふさわしいかについて、皆さんで意見交換をしたいと思います。次回も、楽しく、白熱した話し合いの場となるように準備しておりますので、よろしくお願いいたします！
今後とも「多世代が集う憩い広場」整備についてご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。